

## プログラム

2022/3/1

<<3月19日(土)>>

### ◆08:30~9:00 大会運営委員会

### ◆09:30~11:00 パラレルセッションA

#### A1【企画パネル1】教育問題に対する経済学的アプローチの可能性

モデレーター=露口健司(愛媛大学)

神林寿幸(明星大学):教員の働き方改革は学校に何をもたらしたのか

山下絢(日本女子大学):少人数学級にはどのような効果があるのか

川上泰彦(兵庫教育大学):教員不足はなぜ生じたのか

露口健司(愛媛大学):GIGAスクールは子供の学力を高めるのか

#### A2【公募パネル1】社会関係資本の社会実装(1)まちづくり

モデレーター=稲葉陽二(東京都健康長寿医療センター研究所・日本大学)

岩本達夫(静岡県島田市役所):静岡県島田市の事例

板垣晋(日本総合研究所):PFI事業評価指標としての社会関係資本

近藤克則(千葉大学):健康なまちづくりにおけるソーシャルインパクトボンドなどの可能性—社会関係資本の視点から

藤原佳典(東京都健康長寿医療センター研究所):多世代共創・世代間交流によるまちづくり

#### A3【公募報告1】企業のCSRとソーシャル・キャピタル

モデレーター=古賀麻衣子(専修大学) / 討論者=小野晶子(日本労働研究・研修機構)

河越正明(日本大学)・小島明子(日本総合研究所):企業の社会課題への取り組みは労働市場でどのように評価されるのか

杉永佳甫(大阪商業大学):日本の上場企業のCSR活動が労働生産性に与える影響に関する分析

#### A4【公募報告2】ソーシャル・キャピタルと地域公共政策

モデレーター=金谷信子(広島市立大学) / 討論者=芦田登代(一橋大学)

河口謙二郎(千葉大学医学薬学府)、横山芽衣子(千葉大学予防医学センター)、井手一茂(千葉大学予防医学センター)、

近藤克則(千葉大学予防医学センター・国立長寿医療研究センター):スポーツクラブを利用する地域在住高齢者におけるグループ運動と運動継続との関連:リソルの森ウェルネスエイジクラブ縦断研究

針馬杏佳(東京都市大学):地域包括ケアシステム推進において住民のつながりを創出する自治体の広報活動に関する研究

小藪明生(早稲田大学):地域レベル信頼指標の集計単位ごとの有効性について

### ◆11:10~12:40 パラレルセッションB

#### B1【企画パネル2】国際比較研究の勧め:国際比較の意義、関わり方、利用方法を考える

国際比較研究の魅力と様々な国際比較プロジェクトを紹介し、自分の研究への応用の可能性や国際比較データの利用方法などについて議論する。

モデレーター=山内直人(日本公共政策研究機構)

パネリスト=大西たまき(University of North Carolina) / 岡田彩(東北大学) / 石田祐(宮城大学)

#### B2【公募パネル2】社会関係資本の社会実装(2)ひとづくり

モデレーター=稲葉陽二(東京都健康長寿医療センター研究所・日本大学)

小林勉(中央大学):スポーツによる社会関係資本とひとづくり

露口健司(愛媛大学):教育・社会関係資本によるヒトと組織づくり

藤原武男(東京医科歯科大学):子どものウェルビーイングと地域・学校・家庭のソーシャル・キャピタル

### B3【公募報告3】選挙・社会運動と COVID-19

モデレータ＝辻中豊（東海大学）／討論者＝柳原透（拓殖大学）

河越正明（日本大学）：選挙を通じて我々は何を選択しているのか？

苗詩媛・山本英弘（筑波大学）：一般市民の社会運動に対するイメージ：自由記述データを用いたテキスト分析

立福家徳（日本大学）：COVID-19（新型コロナウイルス）とソーシャル・キャピタル

### B4【チュートリアル・セッション1】因果推論とその応用

計量分析の初学者を対象に、近年社会科学でよく用いられる差の差法（difference-in-differences）とイベントスタディ分析の基礎とその応用を解説する。

講師＝鎌田拓馬（大阪大学）／モデレータ＝尾崎佐知子（内閣府）

---

（一般公開セッション）

---

#### ◆13:00～15:30 公開シンポジウム

シンポジウム「コロナ後の世界を読む」：ケアと社会関係

基調講演＝今田高俊（東京工業大学）

パネリスト＝板倉有紀（福島大学）／柏木智子（立命館大学）／川島典子（福知山公立大学）

藤原佳典（東京都健康長寿医療センター研究所）／モデレータ＝佐藤嘉倫（京都先端科学大学・東北大学）

---

#### ◆15:45～17:15 パラレルセッションC

C1【公募パネル3】AIはどのように社会をかえるかーソーシャル・キャピタルの視点から

モデレータ＝稲葉陽二（東京都健康長寿医療センター研究所・日本大学）

稲葉陽二（東京都健康長寿医療センター研究所・日本大学）：AIへの認識とソーシャル・キャピタルの関係・公共財としてのAI

高木大資（東京大学）：マッチングと社会関係—SNSのレコメンド機能からのインプリケーション

露口健司（愛媛大学）：教師支援用スマートロボットの教育効果：スマートロボットは生徒の認知的・非認知的能力の向上に貢献できるのか？

戸川和成（千葉商科大学）：自治体のAI利用の可能性を探る—地域の結束型SCの維持に向けて

C2【公募報告4】ソーシャル・キャピタルと健康・福祉

モデレータ＝尾島俊之（浜松医科大学）／討論者＝河越正明（日本大学）

相田潤（東京医科歯科大学）、衣川安奈（東北大学）、Abbas Hazem（東北大学）、木内桜（東北大学）、小坂健（東北大学）：口腔の健康と社会関係

小林江里香（東京都健康長寿医療センター研究所）、村山陽（東京都健康長寿医療センター研究所）、長谷部雅美（聖学院大学）、高橋知也（東京都健康長寿医療センター研究所）、山口淳（東京都健康長寿医療センター研究所）、山崎幸子（文京学院大学）：単身中高年者における心身の健康・社会関係・経済状態による類型化と類型別特徴

赤川学（東京大学）：社会関係資本は性行動を活発化するか

C3【公募報告5】震災復興の公共政策

モデレータ＝川脇康生（関西国際大学）／討論者＝大久保朝江（杜の伝言板ゆるる）

向井洋子（熊本学園大学）：被害規模による災害記憶の継承経路：未災者の高校生へのオンライン調査から

佐藤勝典（香川大学）：被災当事者による社会的企業のホームページの変遷

森優真（宮城大学）、中沢峻（宮城大学）、佐々木秀之（宮城大学）：震災復興過程における6次産業化政策と事業者支援の在り方に関する一考察

三井俊介（宮城大学）：非営利セクターの政策起業家の成立要件と成果に関する研究—震災復興の教育に関する政策導入の事例を対象に～

C4【チュートリアル・セッション2】ジャーナル投稿と査読の流儀：アクセプトされるためのヒント

社会関係研究 JJSR をはじめ査読誌への投稿の仕方、査読レポートへの対応など、編集委員長と編集委員が解説する。

モデレータ＝山内直人（日本公共政策研究機構）

パネリスト＝松永佳甫（大阪商業大学）／石田祐（宮城大学）

#### ◆17:30～18:30 理事会

◆09:30~11:00 パラレルセッションD

D1【企画パネル3】書評セッション『協力の条件』をめぐって

盛山和夫著『協力の条件』を題材にゲーム理論の社会問題への適用について著者自身と各分野の識者が語る。  
モデレータ=佐藤嘉倫(京都先端科学大学・東北大学)  
盛山和夫(東京大学) / 岡斎大(東北大学) / 中丸麻由子(東京工業大学) / 大林真也(青山学院大学)

D2【公募パネル4】地域創生における社会関係形成のダイナミズム ~「結束」と「橋渡し」からの事例分析・比較検討

モデレータ=古沢広祐(國學院大學研究開発推進機構)  
大和田順子(同志社大学): 福島復興における都市農村協働に関する考察— 福島県いわき市「天空の里山」における活動を事例として—  
大友和佳子(JA 共済総合研究所・東北公益文科大学): 気仙沼市における社会関係資本について  
新津尚子(イーズ・幸せ経済社会研究所・武蔵野大学): 地域づくりのための支援— ビジョン形成・システム思考を手掛かりに  
坂本誠(ローカル・グランドデザイン・政策研究大学院大学): 地域マネジメント機能の低下における社会関係資本の役割について

D3【公募報告6】公共政策と実証分析

モデレータ=倉本宜史(京都産業大学) / 討論者=真鍋雅史(嘉悦大学)  
山内久美(LSE): アジアにおける移民労働者の人権尊重に関する一考察— 外国人技能実習制度を中心に—  
関口駿輔・渡邊壽大(石巻専修大学): たばこ需要の地域別価格弾力性推定  
長島弥史郎(日本開発構想研究所): 歯科医師国家試験合格率の規定要因に関する実証分析

D4【公募報告7】高齢者の社会参加と就労

モデレータ=本庄かおり(大阪医科薬科大学) / 討論者=白井こころ(大阪大学)  
河野昭(法政大学): 家族の変容と社会政策による高齢者像の転換過程  
相良友哉・村山洋史・藤原佳典(東京都健康長寿医療センター研究所): 高齢者が社会参加する方法としての「就労的活動」に関する事例検討: ESSENCE プロジェクトより  
【優秀研究報告賞受賞】竹内寛貴・井手一茂・近藤克則(千葉大学): 高齢者の社会参加とフレイル発症リスク: JAGES2016-2019 縦断研究

◆11:10~12:40 パラレルセッションE

E1【企画パネル4】若手研究者の多様なキャリア形成過程: 大学院入学後から現職に至る過程の事例的検討

大学院入学後から現職に至る過程で発生しうる、生活環境への適応、人間関係、研究業績と研究費の獲得、家族形成、ワークライフバランス実現などの悩み・苦闘・克服について、多様な背景をもつ経験者から学び考える。  
モデレータ=鈴木伸生(岩手県立大学)  
パネリスト=苦米地なつ帆(大阪経済大学) / 中嶋貴子(大阪商業大学) / 坂口奈央(日本学術振興会特別研究員 PD)

E2【公募報告8】コミュニティのソーシャル・キャピタルとAI

モデレータ=要藤正任(京都大学) / 討論者=小川 顕正(京都先端科学大学)  
戸川和成(千葉商科大学): 社会関係資本は多世代住民が健康に暮らす場として機能するのか— 地方都市・静岡県島田市とその金谷地区を中心として—  
稲葉陽二(東京都健康長寿医療センター研究所・日本大学): メタヴァースにおけるコモنزの悲劇— 社会関係資本で公共財としてのAIを守る  
川島典子(福知山公立大学): AI パーセプションとソーシャル・キャピタル— 宮津市の「AI の影響に関する意識調査」を通して

E3【公募報告9】ソーシャル・キャピタルと教育政策

モデレータ=服部篤子(同志社大学) / 討論者=田中敬文(東京学芸大学)  
平尾順平(ひろしまじん大学)・金谷信子(広島市立大学): 生涯学習とソーシャル・キャピタルの実証分析のための予備的考察— ソーシャル系大学・ひろしまじん大学を中心に—  
【奨励賞受賞】門間浩勝(石巻専修大学): 新規学卒者の新たな就活指標  
芳賀道匡(静岡福祉大学): 子ども館の子育て支援ボランティアがもつソーシャル・キャピタルの研究

#### E4 【チュートリアル・セッション3】公開大学院ゼミ：実証研究クリニック

分野や研究方法の異なる学部生・大学院生に論文や研究アイデア、構想を発表していただき、指導教員とは別のアドバイザーからセカンドオピニオンとしてコメント、フィードバックを得る。

モデレーター＝山内直人（日本公共政策研究機構）

報告者＝金澤つき美（大阪大学）／峯村遥香（東北大学）／福山将平（千葉商科大学）／小林敬志（宮城大学）

アドバイザー＝松永佳甫（大阪商業大学）／立福家徳（日本大学）

#### ◆13:00～14:30 パラレルセッションF

##### F1 【チュートリアル・セッション4】インターネット調査の実際：特徴、使用法、利用研究例

急速に利用が進むネットモニター調査のサンプル特性、メリット・デメリット、調査設計、費用、研究への活用例、データの二次利用などについて解説、議論する。

モデレーター＝山内直人（日本公共政策研究機構）

パネリスト＝大坂紫（インテージ・リサーチ）／大森翔子（NIRA 総合研究開発機構）／西村慶友（日本公共政策研究機構）／黒田かをり（CSO ネットワーク）

##### F2 【公募パネル5】地域の自殺対策とソーシャル・キャピタル

モデレーター＝藤田幸司（東京都健康長寿医療センター）

小川将（東京都健康長寿医療センター）：地域・学校・行政との連携による『SOS の出し方に関する教育』の実践

Yong Kim Fong Roseline（秋田大学）：ひきこもり支援に目指すべきもの

立瀬剛志（富山大学）：地域におけるソーシャル・キャピタル醸成とその波及効果としての自殺対策の進め方

##### F3 【公募報告10】幸福度・満足度と計測

モデレーター＝亀坂安紀子（青山学院大学）／討論者＝大守隆（東京国際工科専門職大学）

【最優秀研究報告賞受賞】要藤正任・打田篤彦（京都大学）：Life Satisfaction Approach を用いたソーシャル・サポートの価値評価の試み

高橋勇介（愛媛大学）：労働者の心身の健康と幸福についての考察

齊藤祐輔（宮城大学）：東日本大震災における若者のボランティア経験が幸福感に与える影響

##### F4 【公募報告11】ソーシャル・キャピタルの経済分析

モデレーター＝杉田伸樹（立命館大学）／討論者＝中川雅之（日本大学）

後藤敬三（立教大学経済研究所）：ソーシャル・キャピタルの視点から見た税制のコンプライアンス

【優秀研究報告賞受賞】梅溪健児（法政大学）：東京から地方への移住可能性に関する実証分析

孫明超（上智大学）：民族ネットワークと経済的要因が外国人居住者の居住地選択に与える影響——都三県の市区町村レベルにおける空間動学的パネルデータモデルからの分析—

#### ◆14:45～15:15 優秀研究報告賞・奨励賞表彰式（受賞者スピーチと講評）

#### ◆15:15～16:00 会員総会

#### ◆16:10～17:00 オンライン交流会

#### ◆17:30～18:00 編集委員会

---

#### JASR2022 大会運営委員会

佐藤嘉倫（京都先端科学大学・東北大学）＝委員長

稲葉陽二（日本大学）・鎌田拓馬（大阪大学）・近藤克則（千葉大学）・眞田英毅（東北大学）

鈴木伸生（岩手県立大学）・立福家徳（日本大学）・露口健司（愛媛大学）・戸川和成（千葉商科大学）

松永佳甫（大阪商業大学）・山内直人（日本公共政策研究機構）

#### JASR2022 大会運営スタッフ

藤澤頭子（学会事務局）・梅原あすな（学会事務局）・金澤つき美（大阪大学）・鮎子田真梨子（大阪大学）

金丸和子（北京大学）・福山将平（千葉商科大学）・齋藤航平（日本大学）